

令和2年度 第1回 土岐川庄内川流域委員会

議事要旨

日時：令和3年3月23日（火）15:00～16:30

場所：ウィンクあいち（愛知県産業労働センター）12階1209

1. 開会
2. 挨拶
3. 議題

■設立趣旨及び土岐川庄内川流域委員会規約（案）の確認

- ・土岐川庄内川流域委員会規約は承認された。
- ・当委員会は、規約第5条5のとおり過半数の委員の出席により成立した。

■庄内川水系河川整備計画の概要

頂いたご意見と事務局回答

- ・庄内川水系河川整備計画（以下整備計画）に位置付けられている内水対策とはどのような内容か。
→本事業は、新川圏域河川整備計画にも位置付けられている。
- 25k 地点下流の地蔵川の河川排水施設を整備する事業であり、整備計画策定時点では、具体的な内容について決まっていない。
- ・事業費ベースでの進捗率が50%程度だが、堤防整備率が約80%と高く、その他の整備内容にお金を要するということか。
→ご指摘のとおり。
- ・流域治水による新たな整備展開を目指すため、国・県・市等で予定されている整備内容を本委員会で議論できるようになれば、より良い会議になる。

■庄内川における出水、近年の河川行政を巡る動向

頂いたご意見と事務局回答

- ・ソフト対策として、洪水時等の情報提供は、整備計画の時点でどのように位置付けていたか。
→整備計画策定時点では、情報提供に関し、具体的な取組までは記載していない。
- 近年では、「土岐川・庄内川の水害から命を守るための会議」等を通じて、洪水時等の情報提供含め、ソフト対策の具体を提示してきている。

- ・情報提供のシステムが整備計画策定時から変わっているので、これまでの経緯も含めて、次回以降に示してほしい。
→次回以降に提示する。

- ・流域での治水対策により、20年間でどのように河川への水の集まり方が変化したか、次回以降情報提供してほしい。
→次回以降に提示する。

- ・国・県・市等が別々に行ってきた治水対策を互いに共有することも大切である。

- ・流域治水プロジェクトに関して、流域の各対策における定量的な評価が重要であるが、そのような評価を行っているのか。
→河川整備以外の対策もあるため、今後、やり方も含めて検討していく必要がある。

■当面の予定

いただいたご意見

- ・進捗状況の報告だけでなく、流域や環境など総合的な視点で議論できる場としてくとより良い委員会となる。

4. 閉会